

平成 24 年 11 月 吉日

徳島医学会 会員各位

第 246 回徳島医学会担当教室
徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部皮膚科学分野
久保宜明
徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部人体病理学分野
坂下直実
徳島県医師会プログラム委員
寺嶋吉保、坂東正章

第 246 回徳島医学会学術集会（平成 24 年度冬期）の御案内および一般演題募集について

演題募集締め切りを延長しました

第 246 回徳島医学会学術集会が別紙のとおり開かれることとなりました。つきましては前回と同様一般演題（ポスターセッション）を募集いたしますので、~~11月26日（月）~~**12月3日（月）**（締切厳守）までに下記の要領にて御応募下さい。規定により優秀な発表者に対して『徳島医学会賞：2名（賞状、副賞：10万円）』が、また、初期臨床研修医の優秀な発表者に対して『若手奨励賞：2名（賞状、副賞：5万円）』が贈られます。徳島医学会賞と若手奨励賞のダブルエントリーはできません。抄録提出後は発表者名、共同研究者名等の原稿内容の変更は認められません。また、所要時間の関係上応募演題数が予定数より上回る場合は、複数応募の講座及び機関に対して1演題のみ受理になることもありますのでご了承ください。抄録提出後1週間以内に「受理」の返事がない場合は徳島医学会事務局迄お問い合わせください。

- 記 -

【一般演題応募要領】

応募方法： 郵送あるいは電子メールで御応募下さい。

郵送の場合： (1)抄録原稿（タイトル、所属、氏名を必ず記載し、本文 600 字以内）
(2)抄録原稿の入った CD、USB メモリ（機種不問、MS Word 形式）をお送り下さい。
(3)徳島医学会賞への応募の有無も必ずお知らせ下さい。若手奨励賞応募の方は「若手応募」と記載してください。

電子メールの場合：上記の (1)抄録原稿と (3)徳島医学会賞への応募と若手奨励賞応募の有無を MS Word 形式でお送り下さい。

応募期限： ~~平成 24 年 11 月 26 日（月）~~**平成 24 年 12 月 3 日（月）必着**

抄録送付先： 〒770-8503 徳島市蔵本町 3 丁目 18-15
徳島医学会事務局 担当者 宛

TEL：(088)-633-7104(直通)（内線 2617） FAX：(088)-633-7115

E-Mail：jmi@basic.med.tokushima-u.ac.jp

注意事項： 抄録およびポスター作成時には、文章や写真などから、個人情報が見つからないように、くれぐれもご注意ください。

【発表形式】 演題（ポスター）をパネル（縦 200cm×横 90cm）に掲示。発表 4 分、討論 2 分（予定）。

第 246 回徳島医学会実務担当者 石上剛史（皮膚科学分野：内 3251） TEL：(088)-633-7154

堀口英久（人体病理学分野：内 2231） TEL：(088)-633-7063

お問い合わせ 徳島医学会事務局（内 2617） ダイヤルイン：(088)-633-7104

第 246 回徳島医学会学術集会（平成 24 年度冬期）

日時：平成 25 年 2 月 3 日（日）9:00～16:05

場所：長井記念ホール（徳島市庄町 1 丁目 78 番地の 1 TEL: 088-633-9522）

9:00～9:05

開会挨拶

徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部人体病理学分野

坂下直実

9:05～9:35（30 分）

教授就任記念講演（1）

徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部医療教育学分野

赤池雅史

9:35～10:05（30 分）

教授就任記念講演（2）

徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部画像情報医学分野

大塚秀樹

10:05～10:35（30 分）

教授就任記念講演（3）

徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部呼吸器・膠原病内科学分野

西岡安彦

10:40～12:50（130 分）

一般演題（ポスターセッション）

12:50～13:00（10 分）

玉置俊晃学会長、川島 周医師会会長 挨拶

第 29 回徳島医学会賞及び第 8 回若手奨励賞授与式

13:00～13:30（15 分×2）

徳島医学会賞 受賞者記念講演

(1) 抗ユビキチン化ペプチド Cblin (Cbl-b inhibitor) を用いた筋萎縮阻害剤の開発

徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部生体栄養学分野

越智ありさ

(2) 徳島県医師会糖尿病対策班（第 1 次、第 2 次）活動の成果—

徳島県医師会糖尿病対策班

島 健二

13 : 30～16 : 00 (150分)

座長 : 坂下直実、久保宜明

シンポジウム 生活の質(QOL: Quality of life)を高める医療最前線- 難治な病気に光明が見えた!-

(1) 乾癬治療に新しい時代の幕開け ～生物学的製剤～

徳島大学病院皮膚科 助教

石上剛史 先生

(2) リウマチに対する生物学的製剤

徳島大学病院呼吸器・膠原病内科 助教

岸 潤 先生

(3) 腰痛治療の最前線

帝京大学溝口病院整形外科 准教授

西良浩一 先生

(4) 不妊治療、生殖補助医療の進歩

徳島大学病院産科婦人科 講師

桑原 章 先生

(5) 異所性脂肪と2型糖尿病

徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部

心臓血管病態医学分野 特任教授

島袋充生 先生

(6) 成人 T 細胞性白血病の治療について

国立病院機構熊本医療センター 臨床研究部・特殊疾病研究室長・

熊本大学大学院医学教育部 臨床国際協力学分野 客員准教授

武本重毅 先生

(7) 脳血管内治療の最前線

徳島赤十字病院 血管内治療科

佐藤浩一 先生

16 : 00～16 : 05

第30回徳島医学会賞および第9回若手奨励賞選考結果発表

閉会挨拶

徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部皮膚科学分野

久保宜明